

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2016年第36週  
(9月5日～9月11日)

- \* 2016年9月14日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は月報告(2016年8月)の疾患及び感染症豆知識「MERS  
(Middle East Respiratory Syndrome:中東呼吸器症候群)」も  
掲載しています。

平成28(2016)年9月15日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2016年36週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		33週	34週	35週	36週	年累計	36週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	65	61	64	62	2,526	377	16,649
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9) <sup>*3</sup>								
三類	コレラ				1	1	1	6
	細菌性赤痢	3			1	31	1	90
	腸管出血性大腸菌感染症	16	28	38	49	347	191	2,575
	腸チフス					15	1	32
	パラチフス					5		12
四類	E型肝炎	2				30	7	289
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎				1	54	3	215
	エキノコックス症							14
	黄熱							
	オウム病					1		4
	オムスク出血熱							
	回帰熱							7
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		3
	サル痘							
	ジカウイルス感染症 <sup>*4</sup>							7
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*5</sup>							40
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							1
	炭疽							
	チクングニア熱					3	2	8
つつが虫病						2	93	
デング熱	1	4	4	4	64	7	244	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

\*3 2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

\*4 2016年2月15日より新たに追加指定された。

\*5 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		33週	34週	35週	36週	年累計	36週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						9	146
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					1		1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		3
	マラリア	1	1		2	15	4	37
	野兔病							
	ライム病							5
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
レジオネラ症	3		3	10	88	40	989	
レプトスピラ症		2	1	1	5	2	30	
ロッキー山紅斑熱								
2016/9/14集計								

( 全数把握対象疾患のコメント・一類～四類 )

〈二類感染症〉

**結核 62件** 患者43件(肺結核 29件、その他の結核 12件、肺結核及びその他の結核 2件)、無症状病原体保有者 18件、疑似症 1件、年齢は5歳未満 2件、20代 13件、30代 4件、40代 9件、50代 3件、60代 11件、70代 8件、80代 9件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 60件、ベトナム 1件、中国 1件であった。

〈三類感染症〉

**コレラ 1件** 患者、血清型・抗原型はO1小川型、年齢は20代、推定感染地はフィリピン、推定感染経路は経口感染であった。

**細菌性赤痢 1件** 患者、菌種はソネ、年齢は20代、推定感染地は中国、推定感染経路は経口感染であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 49件** 患者 27件(うちHUS 3件)、無症状病原体保有者 22件、血清型・毒素型はO26 VT1 2件、O26 VT1,O121 VT2 1件、O157 VT1・VT2 36件、O157 VT2 6件、血清型不明VT1・VT2 1件、血清型不明VT1 2件、血清型不明VT2 1件、年齢は10歳未満 4件(うち5歳未満 3件)、10代 5件、20代 6件、30代 4件、40代 3件、50代 2件、60代 2件、70代 1件、80代 14件、90歳以上 8件、推定感染地は国内 47件、ミャンマー 2件、推定感染経路は経口感染 40件、接触感染 1件、不明 8件であった。

〈四類感染症〉

**A型肝炎 1件** 患者、年齢は20代、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。

**デング熱 4件** 患者 4件、病型はデング熱 4件、血清型は1型 1件、2型 1件、3型 1件、不明 1件、年齢は10代 2件、20代 1件、50代 1件、推定感染地はフィリピン 2件、インドネシア 1件、ベトナム 1件であった。

**マラリア 2件** 患者 2件、病型は三日熱 1件、熱帯熱 1件、年齢は10代 1件、30代 1件、推定感染地はアフガニスタン 1件、カメルーン 1件であった。

**レジオネラ症 10件** 病型は肺炎型 9件、無症状病原体保有者 1件、年齢は40代 1件、60代 3件、70代 3件、80代 1件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 10件、推定感染経路は水系感染 7件(温泉 4件、銭湯 1件、風呂 1件、詳細不明 1件)、塵埃感染 2件、不明 1件であった。

**レプトスピラ症 1件** 患者、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は動物・蚊・昆虫(ネズミ)からの感染であった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2016年36週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		33週	34週	35週	36週	年累計	36週	年累計
五 類 ( 全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	8	6	2	3	157	17	801
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1	4	1	1	51	5	194
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8	2	2	6	129	22	999
	急性脳炎 *1	1	1	3	2	76	9	587
	クリプトスポリジウム症							9
	クロイツフェルト・ヤコブ病					11	1	125
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	3	2	52	9	364
	後天性免疫不全症候群	11	13	11	8	337	14	979
	ジアルジア症			1		13	1	45
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1			2	36	6	225
	侵襲性髄膜炎菌感染症					3	2	33
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	2	3	2	250	13	1,869
	水痘(入院例に限る)	1	1	1		37		209
	先天性風しん症候群							
	梅毒	39	37	34	39	1,190	68	2,991
	播種性クリプトコックス症					10	1	85
	破傷風			1		4	4	87
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	1		2		38
風しん		1			13	2	99	
麻しん	1		5		11	23	115	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					1		25	
2016/9/14集計								

\*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

### （全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 3件** 病型は腸管 3件、年齢は40代 1件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、米国 1件、推定感染経路は経口感染 2件、不明 1件であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は性別不明性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴は不明であった。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 6件** 患者 6件、病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 2件、エンテロバクター・クロアカ 3件、クレブシエラ・オキシトカ 1件、年齢は20代 1件、40代 1件、70代 2件、80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 5件、国内又は米国 1件、推定感染経路は医療器具関連感染(尿路カテーテル) 2件、以前からの保菌 1件、以前からの保菌又は手術部位感染 1件、不明 2件、90日以内の海外渡航歴は有り 1件、無し 5件であった。

**急性脳炎 2件** 病原体はRSウイルス 1件、病原体不明 1件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件** 血清群はB群 1件、G群 1件、年齢は40代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は創傷感染 1件、不明 1件であった。60代の1件は死亡が確認された。

**後天性免疫不全症候群 8件** AIDS 2件、無症候キャリア 3件、その他 3件、AIDS患者の年齢は20代 1件、50代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 4件、40代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は性的接触 8件(同性間 7件、異性間 1件)であった。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症 2件** 血清型は検査未実施 2件、年齢は80代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件、ヒブワクチン接種歴は無し 1件、不明 1件であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 2件** 血清型は検査未実施 2件、年齢は5歳未満 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価4回接種済み 1件、13価3回接種済み 1件であった。

**梅毒 39件** 患者27件(早期顕症梅毒Ⅰ期 10件、早期顕症梅毒Ⅱ期 16件、晩期顕症梅毒 1件)、無症候梅毒 12件、年齢は20代 8件、30代 14件、40代 9件、50代 4件、60代 3件、70代 1件、推定感染地は国内 38件、国外(渡航先不明) 1件、推定感染経路は性的接触 38件(同性間 18件、異性間 12件、両性間 1件、性別不明 7件)、不明 1件であった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2016年36週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2016年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		33週	34週	35週	36週		
小児科	RSウイルス感染症	100	171	312	449	262	264
		0.41	0.67	1.21	1.71		
	咽頭結膜熱	53	55	77	94		
		0.22	0.21	0.30	0.36		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	211	281	312	334		
		0.87	1.10	1.21	1.27		
	感染性胃腸炎	718	855	1,092	1,198		
		2.95	3.34	4.23	4.57		
	水痘	64	63	58	60		
		0.26	0.25	0.22	0.23		
	手足口病	129	243	253	259		
		0.53	0.95	0.98	0.99		
	伝染性紅斑	22	38	30	36		
		0.09	0.15	0.12	0.14		
突発性発しん	100	145	161	175			
	0.41	0.57	0.62	0.67			
百日咳	1	1	3	3			
	0.00	0.00	0.01	0.01			
ヘルパンギーナ	359	486	556	414			
	1.48	1.90	2.16	1.58			
流行性耳下腺炎	191	202	146	147			
	0.79	0.79	0.57	0.56			
川崎病 <sup>*1</sup>		8	6	7			
		0.03	0.02	0.03			
不明発しん症 <sup>*1</sup>	14	25	26	26			
	0.06	0.10	0.10	0.10			
インフル エンザ	インフルエンザ <sup>*2</sup>	4	15	13	31	414	419
		0.01	0.04	0.03	0.07		
眼科	急性出血性結膜炎					38	39
	流行性角結膜炎	21	30	30	32	38	39
		0.58	0.77	0.79	0.84		
基幹	細菌性髄膜炎 <sup>*3</sup>	1		2	1	25	25
		0.04		0.08	0.04		
	無菌性髄膜炎	3	2	5	2		
		0.12	0.08	0.20	0.08		
	マイコプラズマ肺炎	26	29	18	23		
		1.04	1.16	0.72	0.92		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1			1			
	0.04			0.04			
感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>*4</sup>				1			
				0.04			
インフルエンザ入院			1				
			0.04				

2016/9/14集計

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加を続け、過去5年平均を上回っている。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2016年36週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	41	1	1	15		5		1	1	2	
6～11か月	113	5	1	102	2	28		59		45	
1歳	190	19	12	205	6	116	5	83		118	3
2歳	72	16	23	133	3	36		15		89	7
3歳	24	10	38	104	7	28	6	8		57	10
4歳	7	6	34	107	6	14	7	3		35	13
5歳	2	13	43	81	15	13	7	4		37	17
6歳		4	35	67	7	7	6	1		9	14
7歳		4	38	47	4	2	1	1		8	19
8歳		7	17	47	4	2	2			3	13
9歳		5	22	31	1		1			4	17
10～14歳		2	43	116	3	3	1		1	3	27
15～19歳			4	39	1	1					3
20～29歳		2	23	104	1	4			1	4	4
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	449	94	334	1,198	60	259	36	175	3	414	147
先週比	137	17	22	106	2	6	6	14		-142	1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		1									
6～11か月	1	4									
1歳	3	11	1								
2歳	1	4									
3歳		1			1			4			
4歳	2	3			1						
5歳			2								
6歳		1	1		1			2			
7歳			2		1			2		1	
8歳		1	3			1		2			
9歳			1					1			
10～14歳			1		4			4			
15～19歳			1		2			3			
20～29歳			4		6			1	1		
30～39歳			5		5		1	1			
40～49歳			3		5			1			
50～59歳			4		2			1			
60～69歳			3		2			1			
70～79歳					2		1				
80歳以上											
合計	7	26	31		32	1	2	23	1	1	
先週比	1		18		2	-1	-3	5	1	1	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

## 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2016年36週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	0.67			0.33		1.00	0.33	0.33			
中央区	4.67	0.33		5.00	1.00	4.00		1.00		2.67	
みなと	3.17	0.67	0.67	5.00	0.33			0.83		1.17	0.67
新宿区	2.00	0.25	0.75	3.75				0.75	0.13	1.13	0.13
文京	0.25		0.50	2.00	0.25	0.75	0.25	0.25		1.25	
台東	1.75	1.00	0.25	7.00	0.50	1.75		0.75		1.25	2.25
墨田区	2.20	0.20	0.60	2.20		0.20		0.20		1.80	0.40
江東区	2.00	0.44	1.22	10.11		0.22	0.33	1.11		0.89	0.33
品川区	0.25	0.50	0.25	3.63	0.50	0.25	0.13	1.00		0.25	
目黒区	2.00	0.80	1.20	5.60	0.40	1.60	0.20	0.60	0.20	0.60	1.00
大田区	2.69	0.77	2.38	8.92	0.23	0.62	0.08	0.92		1.38	0.77
世田谷	2.06	0.19	2.56	3.25	0.25	0.56	0.13	0.63		1.69	0.50
渋谷区		0.25		3.00	0.25			0.50			
中野区	0.33	0.83	0.83	6.17	0.17	0.50	1.33	1.00		1.83	0.33
杉並	0.36	0.45	0.91	3.82	0.09	0.45		0.64		0.55	0.09
池袋	3.75		0.25	2.50		0.50				0.50	0.25
北区	0.57		0.29	3.00	0.14	4.57		0.43		1.14	0.43
荒川区	6.50		0.75	3.75	0.25	2.75	0.25	0.75		2.50	0.50
板橋区	0.50	0.10	0.40	1.50	0.20	0.10		0.80		0.60	
練馬区	1.62	0.38	1.54	3.85	0.38	0.31	0.46	0.92	0.08	1.62	0.46
足立	1.15	0.31	1.38	4.54	0.23	0.46	0.08	0.92		1.38	0.23
葛飾区	1.38		1.13	6.63	0.25	1.88	0.25	0.38		1.50	1.75
江戸川	2.58	0.92	2.33	5.42	0.08	0.58	0.08	0.42		1.75	0.25
八王子市	2.09	0.09	1.45	9.36	0.18	1.18		0.73		5.45	1.45
町田市	0.63	0.38	1.38	7.38	0.50	0.75	0.13	0.50		3.38	1.38
西多摩	0.25	0.13	0.13	2.25	0.63	0.75		0.13		1.38	0.25
南多摩	1.56		1.44	4.33	0.56	1.33	0.11	0.67		2.78	0.33
多摩立川	0.93	0.07	1.43	2.71	0.14	2.14	0.07	0.36		0.71	0.57
多摩府中	1.65	0.40	0.90	2.75	0.05	1.00	0.15	0.95		1.00	1.25
多摩小平	3.80	0.73	3.20	4.53	0.13	2.07	0.07	0.53		3.00	0.33
島しょ											
東京都	1.71	0.36	1.27	4.57	0.23	0.99	0.14	0.67	0.01	1.58	0.56

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			0.25					2.50			
中央区		0.33			1.00						
みなと			0.33					1.00			
新宿区		0.13						2.00			
文京			0.29		3.00						
台東		0.50									
墨田区			0.25		1.00	1.00	1.00				
江東区			0.07								
品川区		0.25	0.08								
目黒区	0.40	0.60			1.00						
大田区		0.08			0.50						
世田谷	0.13	0.06	0.16					0.50			
渋谷区								1.00			
中野区					1.00						
杉並			0.18		1.00			1.00			
池袋			0.43		3.00						
北区			0.18								
荒川区					1.00						
板橋区			0.31					3.00			
練馬区			0.05		0.50						
足立	0.08				3.00						
葛飾区		0.25						1.00			
江戸川			0.05		0.50						
八王子市		0.27			2.00					1.00	
町田市											
西多摩								1.00			
南多摩			0.07								
多摩立川		0.07			0.50			1.00			
多摩府中	0.10	0.25			0.33			0.67	0.33		
多摩小平		0.27	0.04		2.50		0.50	0.50			
島しょ											

東京都	0.03	0.10	0.07		0.84	0.04	0.08	0.92	0.04	0.04	
-----	------	------	------	--	------	------	------	------	------	------	--



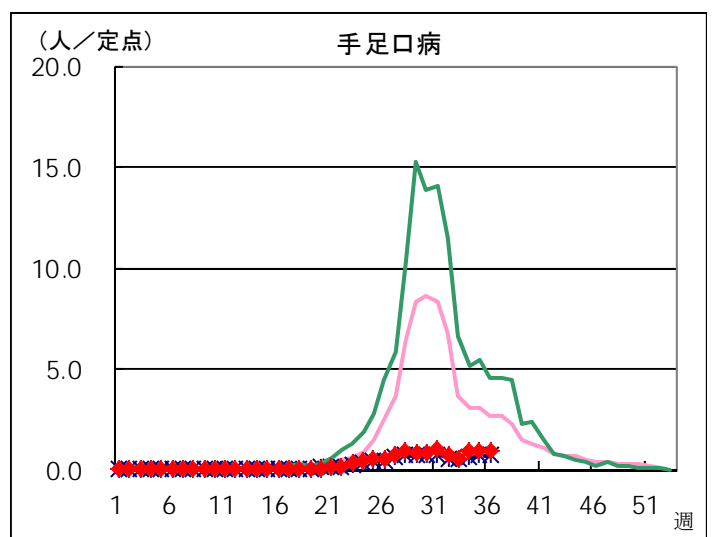
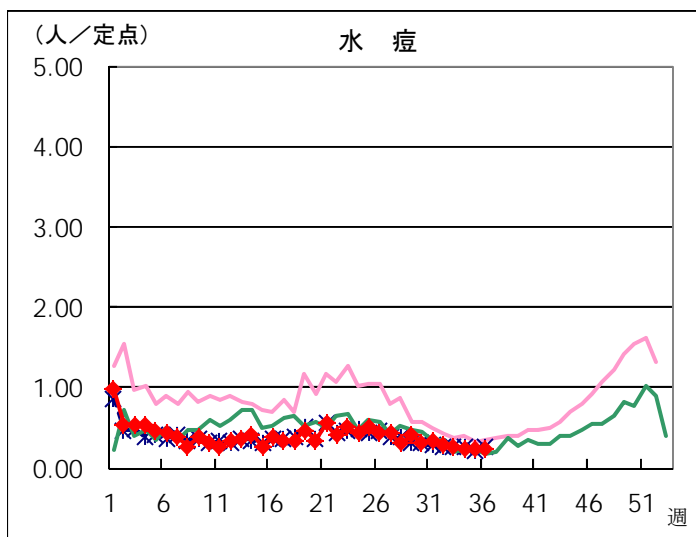
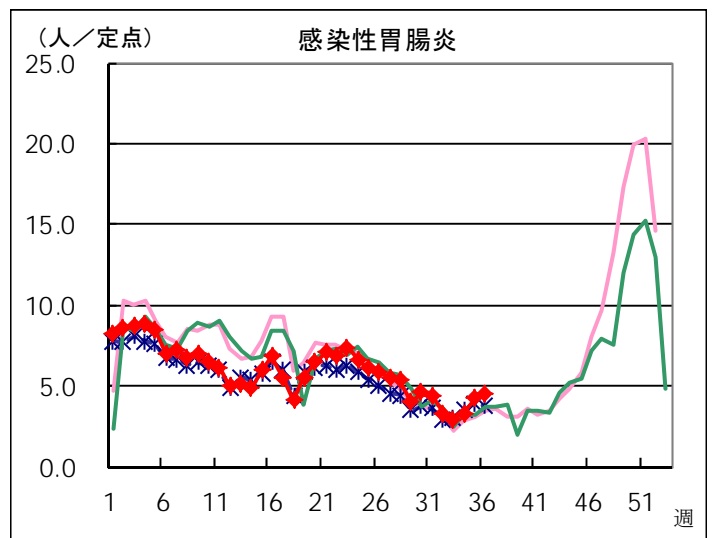
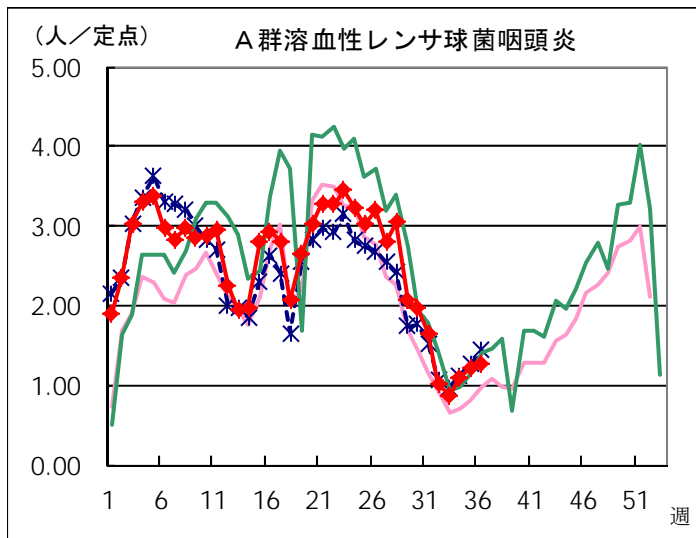
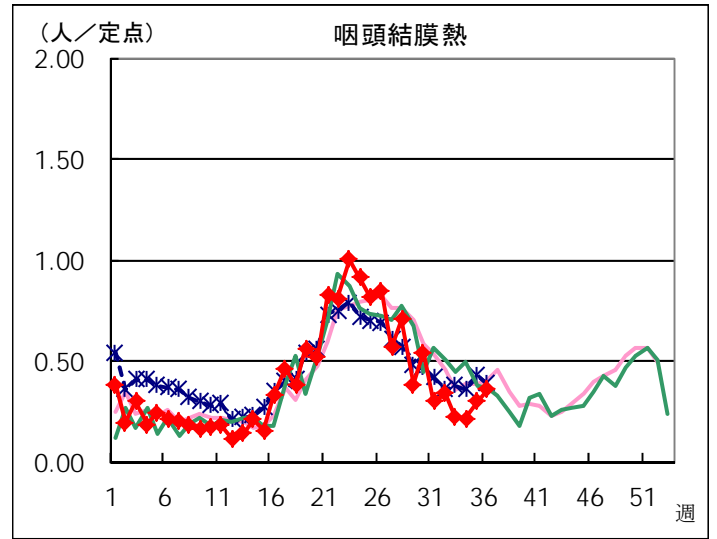
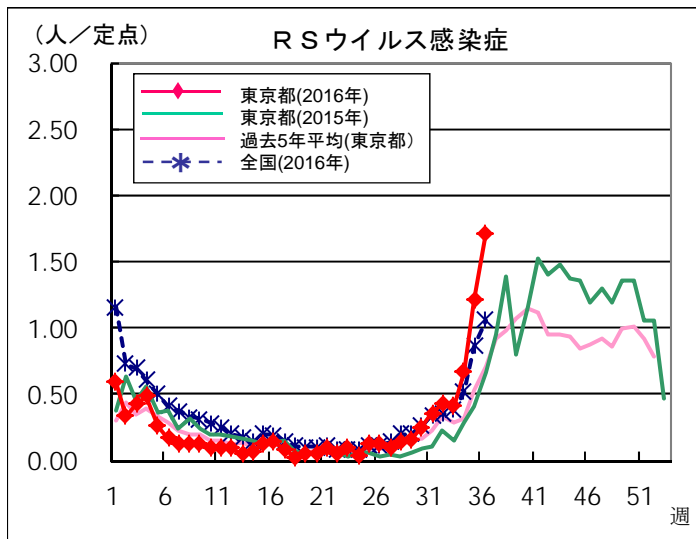
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2016年36週

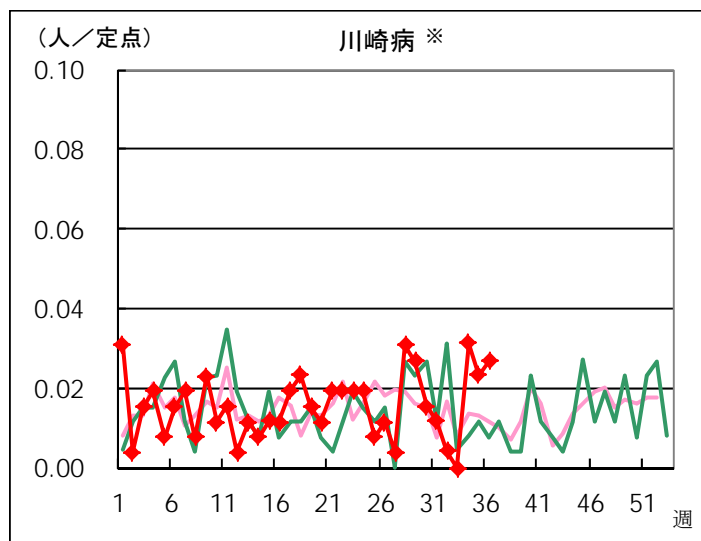
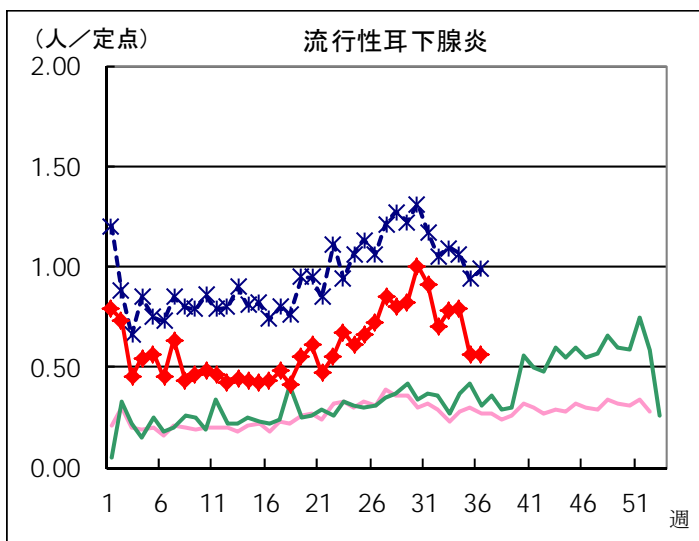
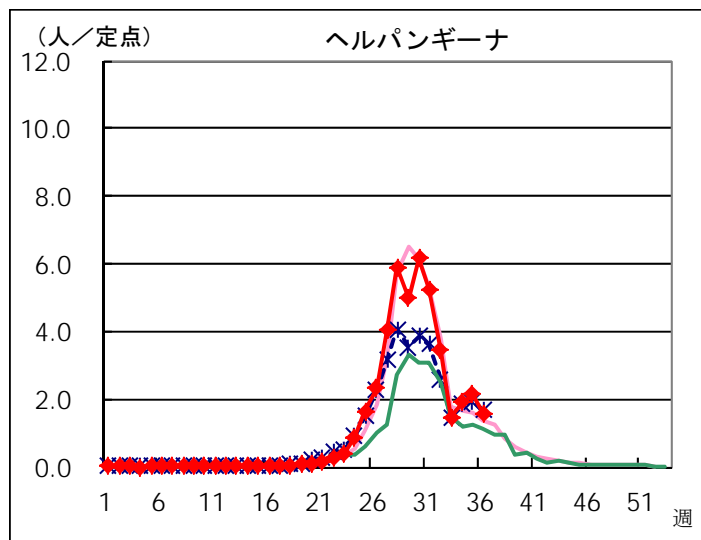
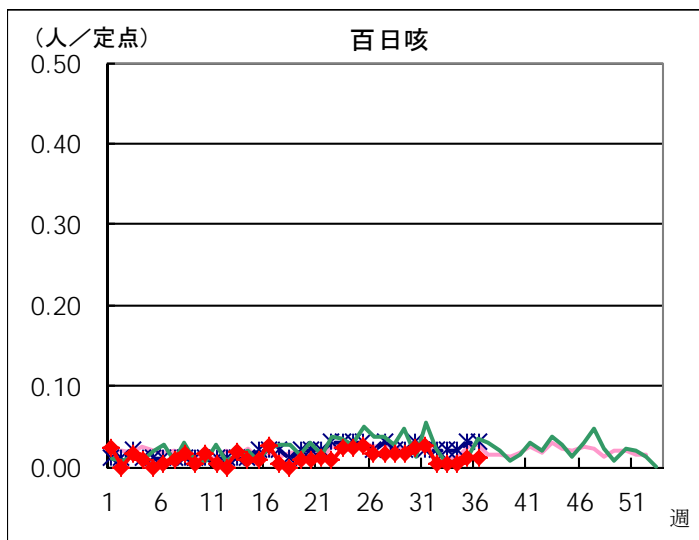
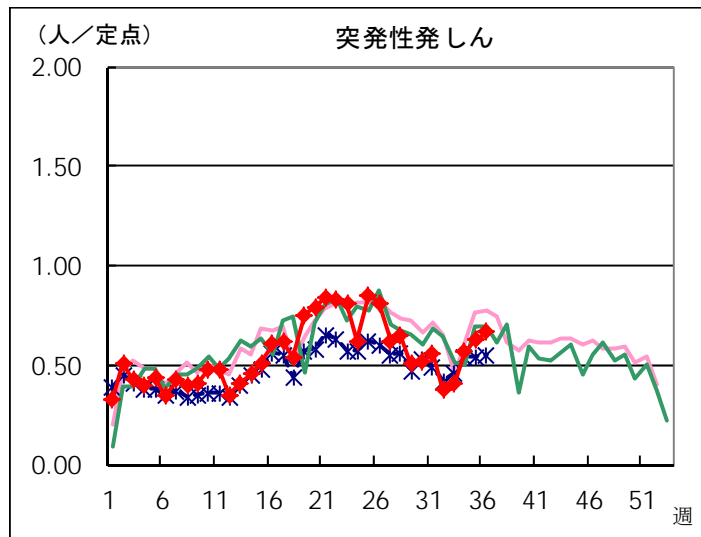
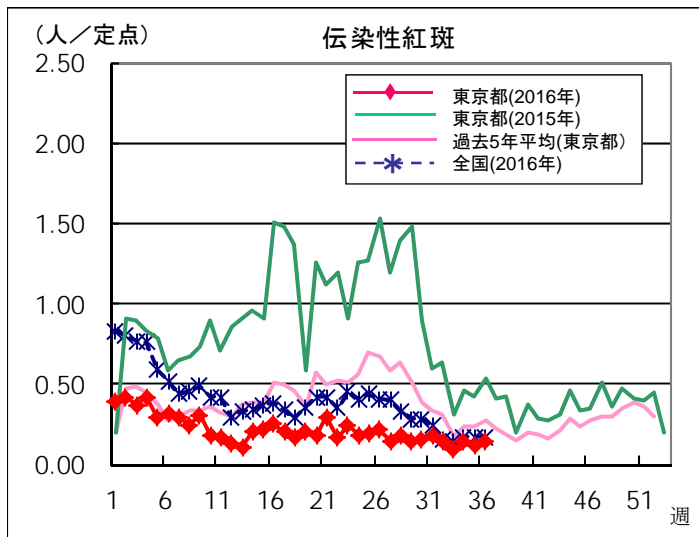
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	2			1		3	1	1			
中央区	14	1		15	3	12		3		8	
みなと	19	4	4	30	2			5		7	4
新宿区	16	2	6	30				6	1	9	1
文京	1		2	8	1	3	1	1		5	
台東	7	4	1	28	2	7		3		5	9
墨田区	11	1	3	11		1		1		9	2
江東区	18	4	11	91		2	3	10		8	3
品川区	2	4	2	29	4	2	1	8		2	
目黒区	10	4	6	28	2	8	1	3	1	3	5
大田区	35	10	31	116	3	8	1	12		18	10
世田谷	33	3	41	52	4	9	2	10		27	8
渋谷区		1		12	1			2			
中野区	2	5	5	37	1	3	8	6		11	2
杉並	4	5	10	42	1	5		7		6	1
池袋	15		1	10		2				2	1
北区	4		2	21	1	32		3		8	3
荒川区	26		3	15	1	11	1	3		10	2
板橋区	5	1	4	15	2	1		8		6	
練馬区	21	5	20	50	5	4	6	12	1	21	6
足立	15	4	18	59	3	6	1	12		18	3
葛飾区	11		9	53	2	15	2	3		12	14
江戸川	31	11	28	65	1	7	1	5		21	3
八王子市	23	1	16	103	2	13		8		60	16
町田市	5	3	11	59	4	6	1	4		27	11
西多摩	2	1	1	18	5	6		1		11	2
南多摩	14		13	39	5	12	1	6		25	3
多摩立川	13	1	20	38	2	30	1	5		10	8
多摩府中	33	8	18	55	1	20	3	19		20	25
多摩小平	57	11	48	68	2	31	1	8		45	5
島しょ											
東京都合計	449	94	334	1,198	60	259	36	175	3	414	147

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			1					5			
中央区		1			1						
みなと			3					1			
新宿区		1						4			
文京			2		3						
台東		2									
墨田区			2		1	1	1				
江東区			1								
品川区		2	1								
目黒区	2	3			1						
大田区		1			1						
世田谷	2	1	4					1			
渋谷区								1			
中野区					1						
杉並			3		1			2			
池袋			3		3						
北区			2								
荒川区					1						
板橋区			5					3			
練馬区			1		1						
足立	1				6						
葛飾区		2						1			
江戸川			1		1						
八王子市		3			4					1	
町田市											
西多摩								1			
南多摩			1								
多摩立川		1			1			1			
多摩府中	2	5			1			2	1		
多摩小平		4	1		5		1	1			
島しょ											
東京都合計	7	26	31		32	1	2	23	1	1	

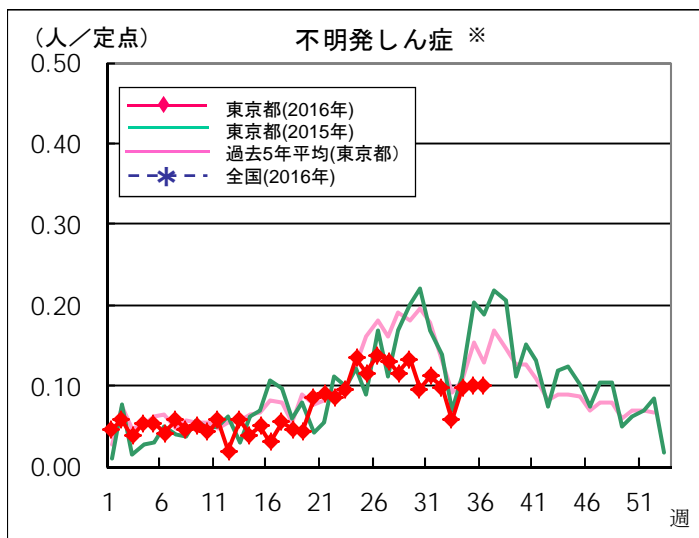
# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2016年36週 現在)

## ◆ 小児科定点

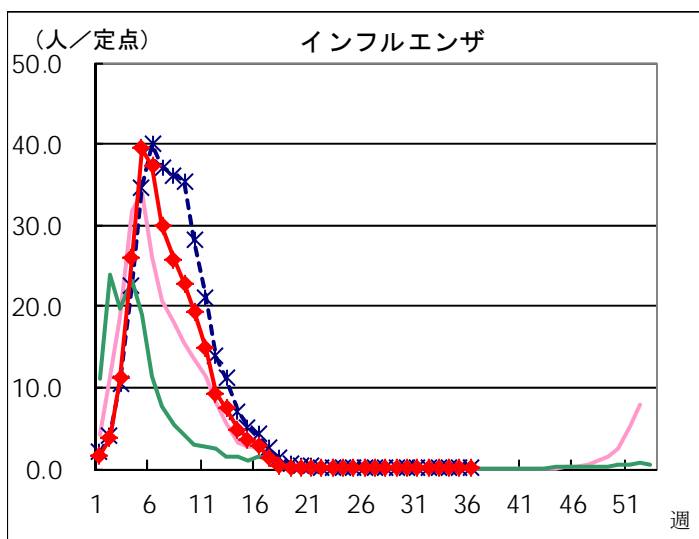




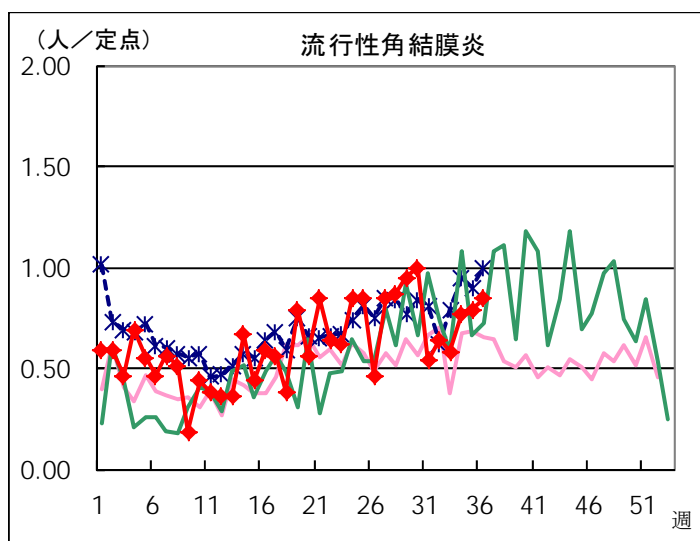
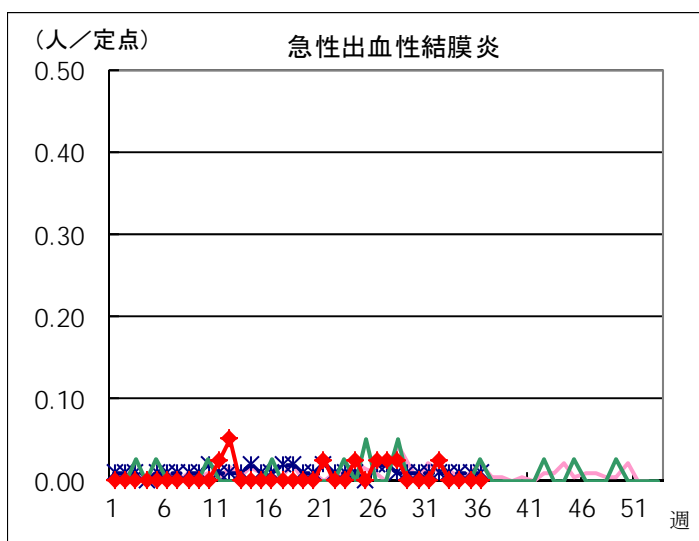
※ 東京都独自対象疾患



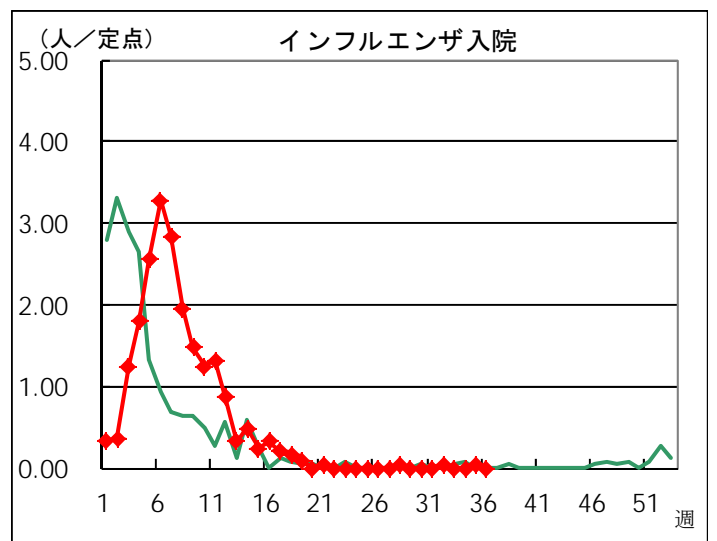
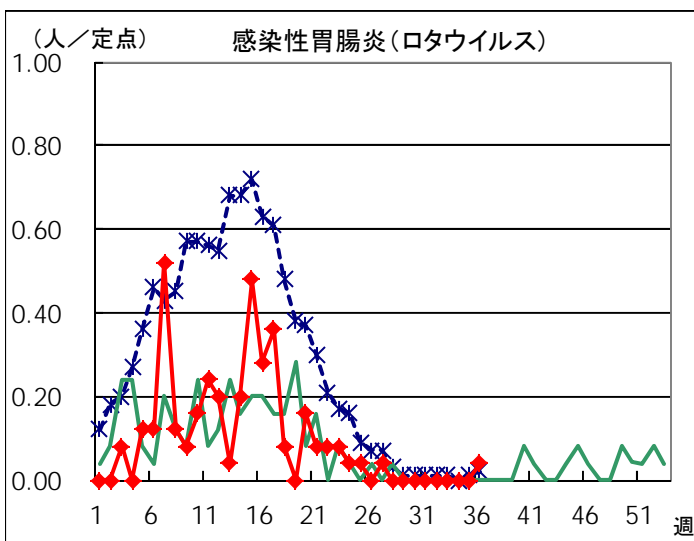
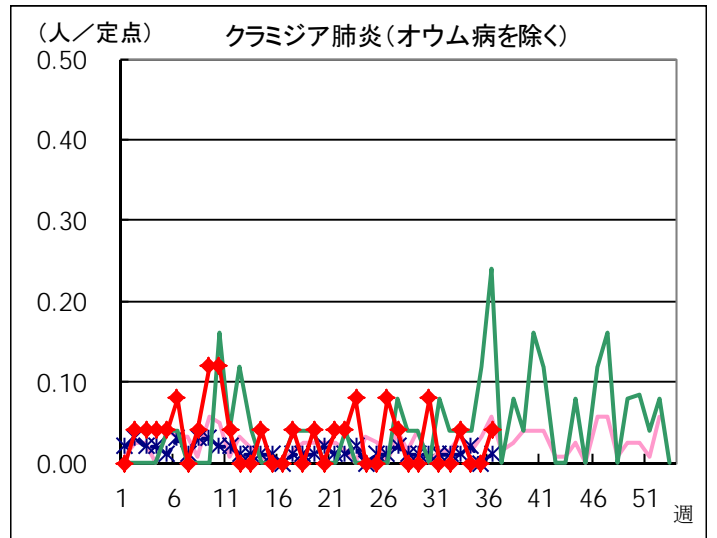
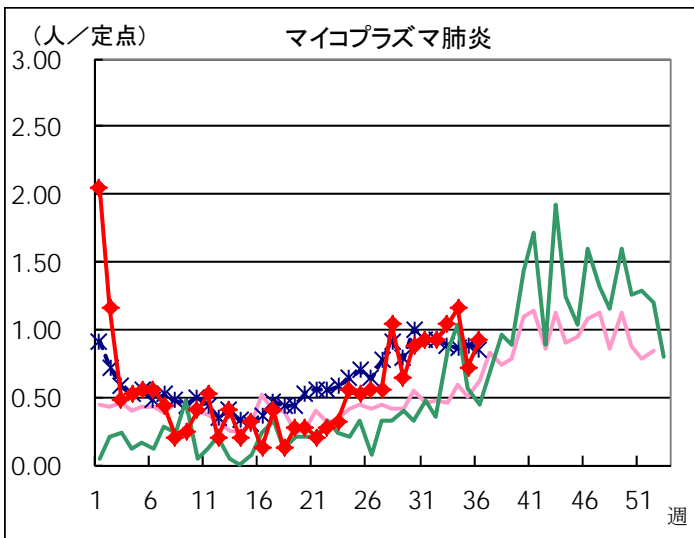
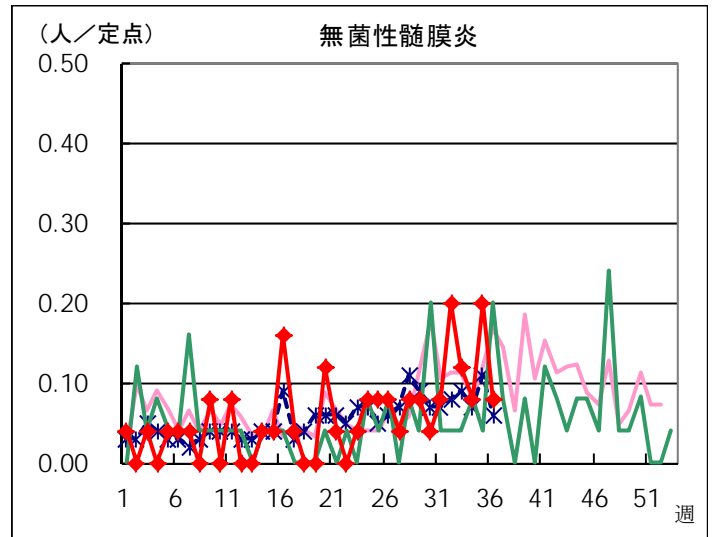
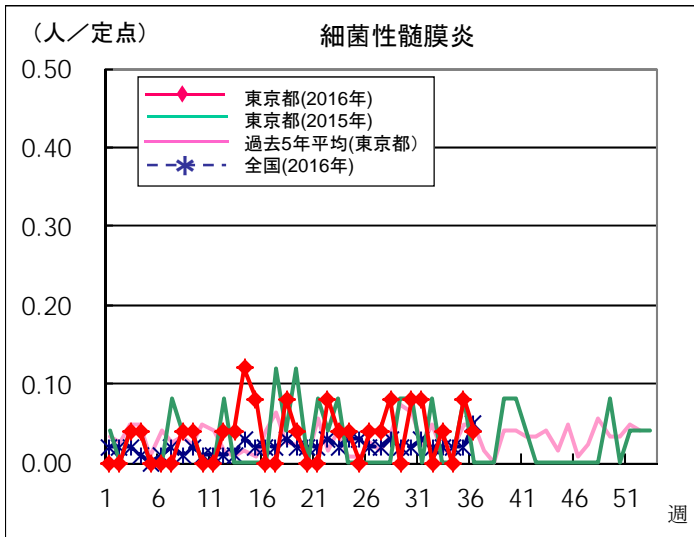
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
8/4	流行性角結膜炎	35	結膜拭い液	アデノウイルス3型
8/10	インフルエンザ	41	咽頭拭い液	ライノウイルス
8/13	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-12型
8/17	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型
8/19	水痘	11	皮膚病巣	水痘・帯状疱疹ウイルス
8/22	ヘルパンギーナ	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群10型
8/22	流行性耳下腺炎	8	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
8/23	伝染性紅斑	9M	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
8/23	流行性耳下腺炎	4	咽頭拭い液	ムンプスウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2016年34週				
2015-2016年 シーズン累計*	162		29	180

\* 2015-2016年シーズンの開始は第36週(2015年8月31日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2016年							
	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週
アデノウイルス	2	2		2	1	1		1
コクサッキーウイルスA群	7	5	4	5	5		1	2
コクサッキーウイルスB群							2	
エコーウイルス			1					
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス		2	1					
ライノウイルス	1				1	1		1
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス						1		1
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1		3	2				
EBウイルス				1		1		
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス		2		5	1	2	1	2
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
ヒトパルボウイルスB19	2							1
RSウイルス		1	1			1		
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サボウイルス								
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型						1	1	
インフルエンザウイルスB型								
インフルエンザウイルスAH1pdm09								
その他のウイルス		1		1				
A群溶血性レンサ球菌T-1型	2							
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型		1			1			
A群溶血性レンサ球菌T-12型			1		2			1
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型								
A群溶血性レンサ球菌その他のT型	1							
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ	1	1		1	2			
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2016年27週～2016年34週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	4	9	13	5	2	17	2	3	4	20	18	2	12	3	11		4	3	17	9	
アデノウイルス		7															2				
コクサッキーウイルスA群						14				15											
コクサッキーウイルスB群																			2		
エコーウイルス																			1		
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス															3						
ライノウイルス						2				1					1						
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス					2																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								2								4					
EBウイルス											2										
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス											13										
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風疹ウイルス																					
ヒトパルボウイルスB19							2										1				
RSウイルス	3																				
ノロウイルス																					
ロタウイルス																					
サボウイルス																					
インフルエンザウイルスAH1亜型																					
インフルエンザウイルスAH3亜型																2					
インフルエンザウイルスB型																					
インフルエンザウイルスAH1pdm09																					
その他のウイルス																					2
A群溶血性レンサ球菌T-1型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			4																		
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型																					
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					5
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2016年8月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり	合計	定点当たり	報告医療機関数	定点医療機関数
性感染症	性器クラミジア感染症	男	127	2.31	224	4.07	55	55
		女	97	1.76				
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	80	1.45	117	2.13		
		女	37	0.67				
	尖圭コンジローマ	男	90	1.64	114	2.07		
		女	24	0.44				
	淋菌感染症	男	87	1.58	109	1.98		
		女	22	0.40				
	膣トリコモナス症	男			12	0.22		
		女	12	0.22				
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	男	49	1.96	78	3.12	25	25
		女	29	1.16				
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	男	4	0.16	8	0.32		
		女	4	0.16				
	薬剤耐性緑膿菌感染症	男	2	0.08	2	0.08		
		女						

2016/9/14集計

月報告 定点把握対象疾患(性感染症・基幹) 報告数【年齢階級別】2016年8月

< 男性 >

	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	膣トリコ モナス症	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症
0歳						12		
1～4歳						9		
5～9歳						3	1	
10～14歳						1		
15～19歳	1						1	
20～24歳	17	4	5	10		1		
25～29歳	25	3	16	17		1		
30～34歳	25	13	17	19				
35～39歳	28	14	14	13		1		
40～44歳	15	13	13	14		1		
45～49歳	9	12	14	7				1
50～54歳	2	8	5	3		1		
55～59歳	4	6	3	2		2		
60～64歳	1	3	3	2		2		1
65～69歳		2					1	
70歳～		2				15	1	
合計	127	80	90	87		49	4	2
先月比	4	-5	4	-24		13		

< 女性 >

	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	膣トリコ モナス症	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症
0歳						4	1	
1～4歳						1	1	
5～9歳						2		
10～14歳						3		
15～19歳	3		1					
20～24歳	33	3	9	5	1	1		
25～29歳	27	5	7	5	4	1		
30～34歳	13	10	3	3	1	1		
35～39歳	11	6	1	1	1	1		
40～44歳	7	5	2	5	3			
45～49歳	3	2		1		1	1	
50～54歳		4				1		
55～59歳			1		1	1		
60～64歳		1		2		1		
65～69歳						2		
70歳～		1			1	9	1	
合計	97	37	24	22	12	29	4	
先月比	-6	2	2	2	6	2		

## 月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数 【保健所別】 2016年8月

< 男性 >

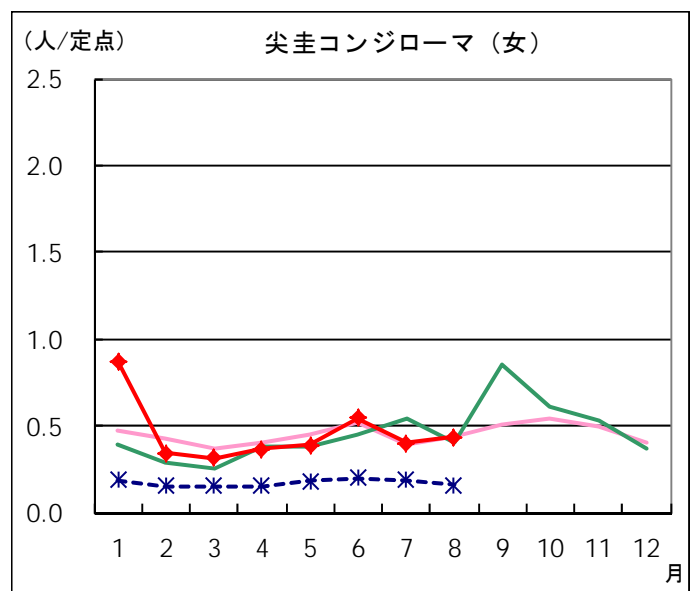
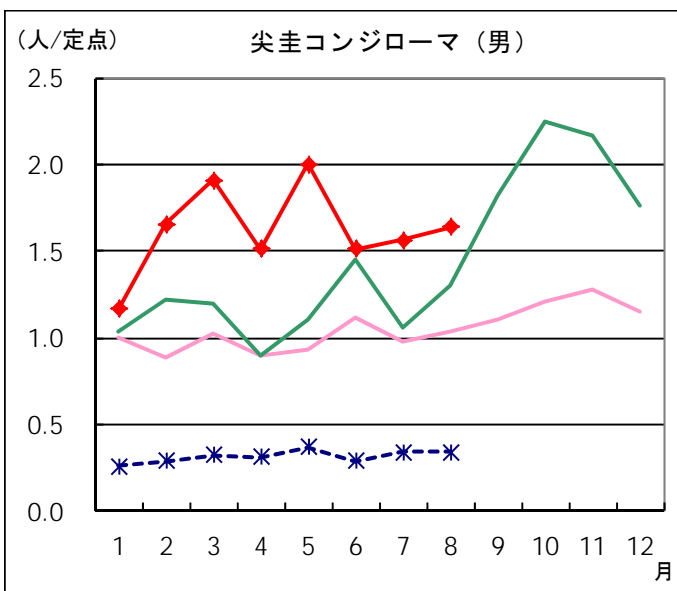
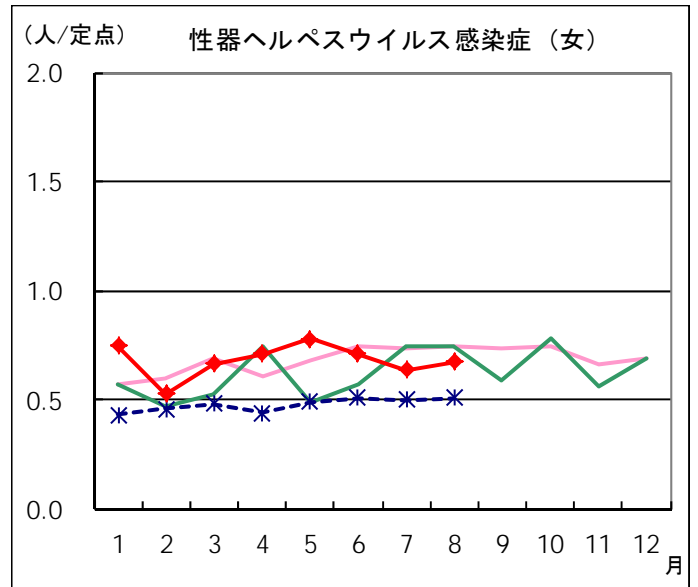
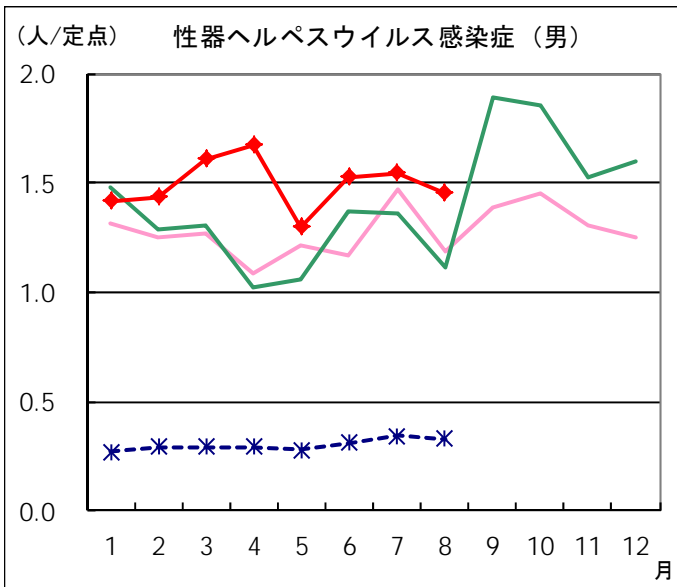
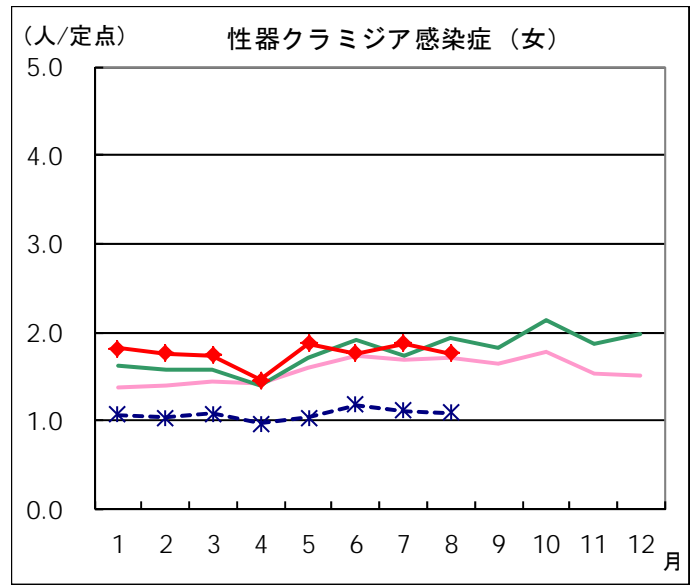
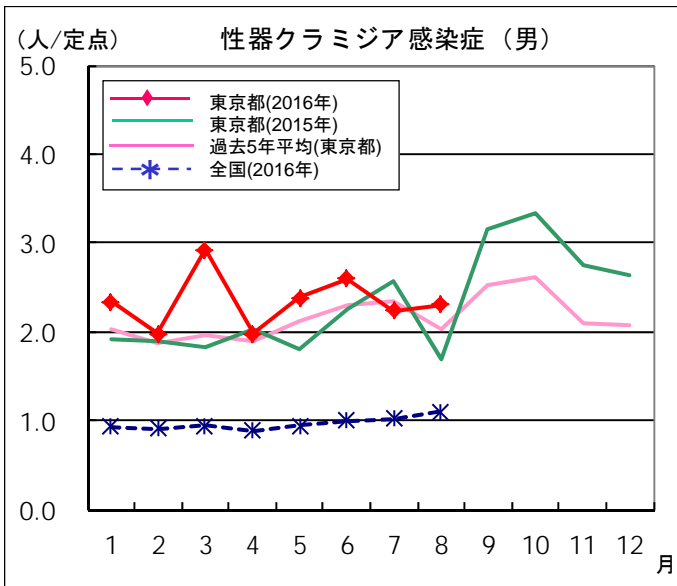
	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	臍トリコモナス症	総 計
千代田	2	9		6	5		20
中央区	3	9	3	1	3		16
みなと	2	10	37	12	4		63
新宿区	7	21	12	39	13		85
文京	1	2	2	1	3		8
台東	2				3		3
墨田区	2	5	2	2	2		11
江東区	2	12	3	2	7		24
品川区	1	3	1	1	2		7
大田区	2				4		4
渋谷区	5	23	13	19	28		83
中野区	2	3					3
杉並	2	7		2	1		10
池袋	3	12	6	3	8		29
北区	1	2		2			4
荒川区	1						
板橋区	2	5			4		9
足立	2	2					2
江戸川	2	1	1				2
八王子市	4						
町田市	1						
多摩立川	2	1					1
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	55	127	80	90	87		384
定点当たり		2.31	1.45	1.64	1.58		6.98

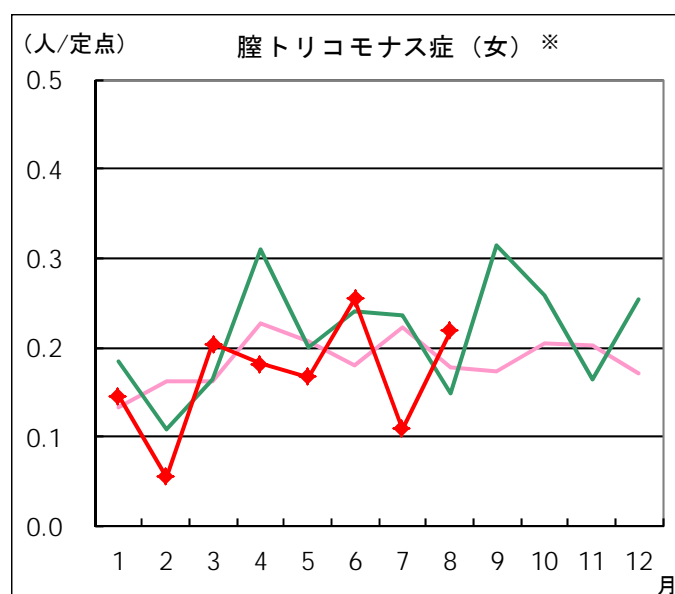
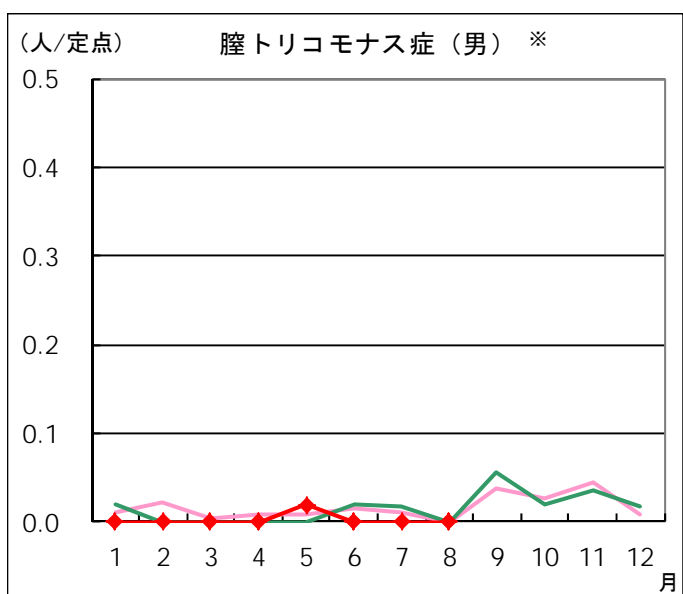
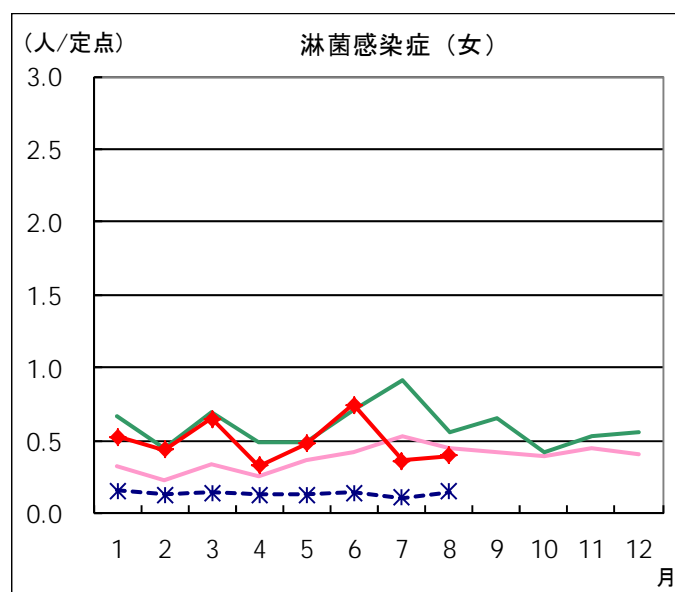
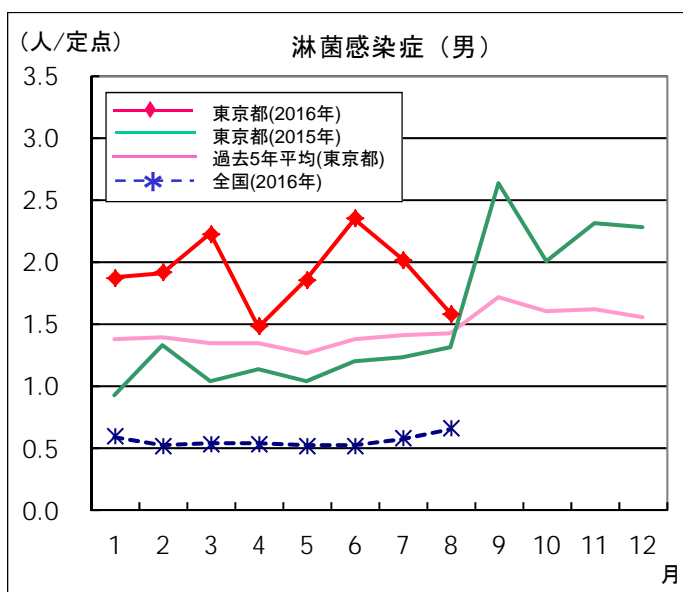
< 女性 >

	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	臍トリコモナス症	総 計
千代田	2						
中央区	3		1				1
みなと	2		2	3			5
新宿区	7	8	5	9	1	2	25
文京	1						
台東	2	6	3	2	12	2	25
墨田区	2						
江東区	2	2				1	3
品川区	1	1	1		1		3
大田区	2	5			1	1	7
渋谷区	5	11	10	4	3		28
中野区	2					1	1
杉並	2	1	1				2
池袋	3	11	3	2	1	1	18
北区	1						
荒川区	1	4	2				6
板橋区	2	4	2				6
足立	2	7		1			8
江戸川	2	9		1	1		11
八王子市	4	8	3			1	12
町田市	1	9	2	1			12
多摩立川	2	11	1	1	2	3	18
多摩府中	3						
多摩小平	1		1				1
合 計	55	97	37	24	22	12	192
定点当たり		1.76	0.67	0.44	0.40	0.22	3.49

# 月報告 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2016年8月 現在)

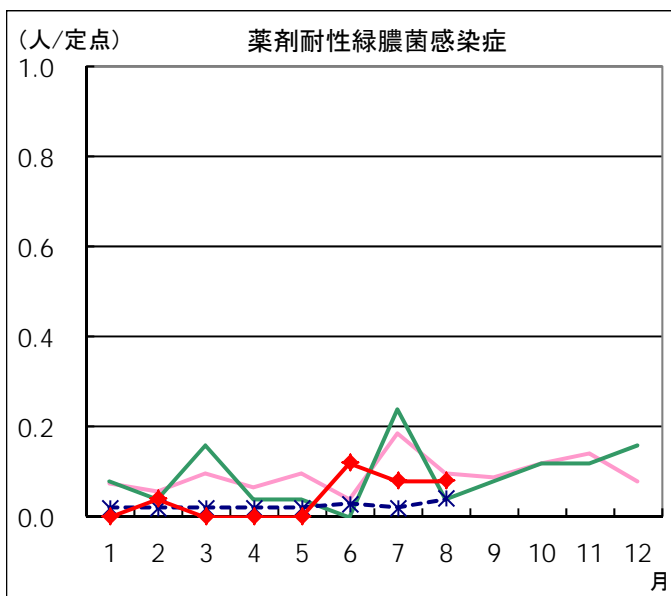
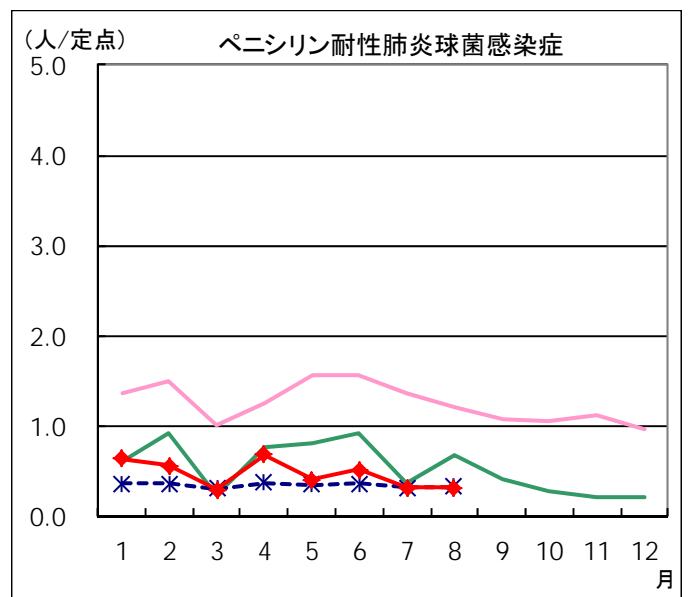
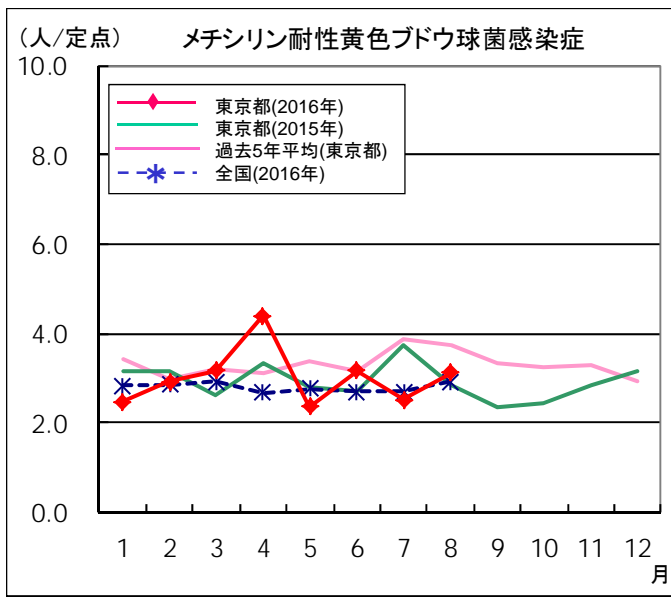
## ◆ 性感染症定点





※東京都独自対象疾患

◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報(月報告)

採取日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体
7/27	性器ヘルペス	39	男	陰部擦過物	単純ヘルペスウイルス1型
8/2	性器ヘルペス	30	男	皮膚病巣	単純ヘルペスウイルス2型
8/4	クラミジア感染症	23	女	陰部擦過物	クラミジア・トラコマチス
8/10	尖圭コンジローマ	24	男	陰部擦過物	ヒトパピローマウイルス6型
8/16	クラミジア感染症	31	男	尿	クラミジア・トラコマチス
8/17	尖圭コンジローマ	76	男	コンジローマ 切除部位	ヒトパピローマウイルス6型
8/19	尖圭コンジローマ	27	男	陰部擦過物	ヒトパピローマウイルス11型 ヒトパピローマウイルス(6,11,16,18型以外)
8/21	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	80	男	血液	MRSAコアグラージェⅢ型
8/27	淋菌感染症	34	男	陰部擦過物	淋菌



## <感染症豆知識>

### MERS (Middle East Respiratory Syndrome : 中東呼吸器症候群)

MERS (Middle East Respiratory Syndrome) は2015年5月に隣国韓国で発生し、急速にわが国での関心が高まった。この感染症は2012年にすでに検知されており、わが国では2015年1月 感染症法2類疾患として指定、地方衛生研究所のほとんどでRT-PCRによる病原診断が可能になっていた。MERSは2012年9月に、中東へ渡航歴のある重症肺炎患者からSARSとは異なる新たなコロナウイルスが英国で見いだされたとの報告から始まり、その後中東を中心にした症例の集積が明らかとなり、中東呼吸器症候群MERSと命名された。

潜伏期は1~12日程度。発熱、咳嗽、呼吸困難が主な症状で、軽症から重症までさまざまである。重症患者の大半は、腎疾患・癌・糖尿病・心不全などの基礎疾患を有している。感染源はコウモリで、コウモリからヒトコブラクダ、ヒトコブラクダとの接触あるいは飛沫等によるヒトへの感染が推定されている。一部の院内感染や家族内感染を除いてはヒトからヒトへの広汎な感染は確認されておらず、麻疹やインフルエンザのような感染の広がりはないといえる。

韓国におけるMERSは2015年12月23日に終息宣言が出されており、最終的な確定患者数は186名、死亡数は38名(致死率20.4%)となった。現在に至るまで新たな患者発生はなく、MERSに関する報道はほぼ消えた。しかし、サウジアラビアなどを中心とした中東地区ではMERS患者発生は続いており、いまだに中東地区から帰国して発熱や咳が現れたことによるMERS検査が各地の地方衛生研究所で行われている。幸いに目下そのすべてがMERS陰性であるが、ほとんどの方がラクダと濃厚接触したり、ラクダの乳や肉などを飲んだり食べたりしている。異なった風景、珍しい食べ物や体験を楽しむことは海外旅行の醍醐味である。しかしMERSは消え去った病気ではないので、あえてリスクに近づくようなことは避けていただきたい。旅の楽しみを失うだけでなく、健康を損ね、社会に大きな損害を与える可能性があるからである。

(文責 川崎市健康安全研究所長 岡部信彦)